

大島青松園案内



大島青松園上空から屋島・高松港方面を臨む

ハンセン病を正しく理解しましょう！

National Osima Seisho-en Sanatorium

国立療養所大島青松園

〒761-0198 香川県高松市庵治町6034-1

☎ 087-871-3131 FAX 087-871-4821



ロゴマーク

ロゴマークは青い海と緑の島をシンプルに表わしています。外枠は大島青松園の頭文字Oであり、色は瀬戸内海の澄み切った青色で囲み、園の表示字体は白砂の白で浮き出しています。中央の図(しゃちほこ型)は島全体を上空から緑色で示したものです。

大島青松園は側面から見たら、可愛いひょうたん型をして瀬戸内の海に浮いている小さな島です。四国本土との橋の願いは、入所者・職員の永遠の思いであります。その思いは、7色の虹のかけはしとなり、せいしょう君がニコニコと微笑んでいます。



キャラクターマーク せいしょう君

病床数・診療科目

医療法 100床 内科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科

環境

高松港の北東方約8km、庵治港から約5kmの瀬戸内海に浮かぶ面積62haの小島である。
島の西海岸からは伝説・桃太郎の「鬼が島」(女木島)、南には源平の古戦場・屋島「壇の浦」、東には二十四の瞳の小豆島が瀬戸の朝日、夕日に生えて一瞬のうちに望まれる。
島はまた、白砂青松につつまれ西海岸には源平の勇者を葬ったと伝えられる老松「墓標の松」に覆われ天然の美とともに、源平の昔を偲ばせる静かなたたずまいをみせている。

沿革

- 明42. 4 「大島療養所」として中・四国8県(岡山、広島、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知)の連合立で香川県知事の管理するところとして発足(病床200床)
昭16. 7 厚生省に移管「国立らい療養所大島青松園」と改称(病床650床)
昭21. 11 「国立療養所大島青松園」と改称

面積

全島	620,531㎡
敷地	600,377㎡
民有地	20,154㎡
島外敷地	726㎡
周囲	7.2km
東西	1.3km
南北	1.6km

大島青松園の理念

私たちは、入所者の尊厳を守り、入所者の心情を理解し、入所者が安心して生活できる環境を提供します。

【基本方針】

1. 入所者の権利と人格を尊重します。
2. 信頼される医療・看護・介護をめざします。
3. 職員の教育・研修に努めます。
4. ハンセン病の啓発に努めます。

●ハンセン病の医療

ハンセン病は、1873年(明治6年)に「らい菌の体内侵入による慢性感染症である」ことがハンセン氏によって解明されたことに因んで名付けられた疾患である。

治療は、一般医療機関で医療保険を適用して受診でき、1日に1回・2~3種類の薬の内服を自宅で行うことである。1回目の服薬により、数日後に菌の感染性が失われるので特別な消毒や隔離の必要はなく、一般的には外来通院で治療する、治療期間は病型によって違いがあるが、1回のみ・6ヶ月・1年間等で終了する。

らい菌は末梢神経・皮膚・眼に侵入するので、発見・治療が遅れると治療終了後に後遺症を残すことがあり、社会生活に支障を来すことがある。

現在、国内では新しい患者が発見される事はほとんどありません。既往歴者には有効な治療薬が発見される以前に発病した人が多く、身体障害者や高齢者が多いために社会復帰はわずかの人がしか実現していないのが現状である。

世界では年間約20万人の新患者が発見されているが、WHOの目標(人口1万人に1名以内の患者数にする)を達成できていない国は数力国のみとなった。

●医療対策

ハンセン病問題の解決の促進に関する法律により、国は入所者の療養に関する費用を全額支弁している。そして、ハンセン病治療薬が保険診療の適用を受け、一般医療機関でも治療できるようになっている。

現在では、入所者全員がハンセン病の基本治療を既に終了し、ハンセン病の後遺症治療と一般疾患治療を必要な医療としている。

後遺症治療は、皮膚科・眼科・耳鼻いんこう科・外科・整形外科等の診療科で行われている。一般疾患治療は、内科・心療内科・婦人科・泌尿器科等で悪性腫瘍・脳血管障害・心臓病・高血圧症・生活習慣病・認知症など、入所者の高齢化に伴う医療内容が大きな比重を占めている。

一方、園内の診療スタッフと医療機器には制約があるために、島外医療機関からの診療援助や島外医療機関への委託診療を行っている。

●療養生活

入所者の療養生活は、プライバシーに配慮した個室(単身用・夫婦用)で営まれている。

園内は、あたかも村落の様であり、公会堂・老人福祉会館・売店・理美容室・郵便局・公園・宗教施設等を備え、個人のライフスタイルが活かされるよう整備されている。

また、給食センター・電気・水道・洗濯・環境整備等に関する施設と看護職員等の配置により入所者の生活療養介護サービスが行われ、医師・看護師や介護員による健康管理・生活援助を受けて快適な日常を送っている。

健康管理や病気治療のために、外来治療棟・リハビリテーション棟・病棟があり、通院・入院による治療を受けている。

このような様々な環境の中で、入所者自治会を中心として機関誌発行(青松・灯台)、クラブ活動(カメラ、川柳、俳句、短歌、詩歌、ゲートボール、盆栽、書道、七宝、陶芸、カラオケ、パソコン等)が続けられている。これらの活動は、園内活動のみに留まらず、地元地域や他の組織団体との交流に拡大されて来ている。

写真の花・野鳥・昆虫は大島で見られます。

国立療養所大島青松園配置図





①【正面玄関と墓標の松】

約800年前の昔、源氏と戦った平氏が屋島の合戦に敗れ、長門に落ちる時、武將の死骸を遺棄するに忍びず、愛用の刀や弓矢などと共に丁重に弔い埋葬し、墓標として松樹を移植した。かつて、東西の海岸に松原があって、西風、東風から島の田畑を守り続けた。



⑦【昭和天皇歌碑】



②【心月園】

第3代園長(1933年～1969年)の野島泰治先生の功績をたたえるために造られた公園。毎年この心月園と墓標の松をメイン会場として大島「夏祭り」が開催されます。島外から大勢の来島と祭りに花と活気を添える四国各県からの踊り連と立ち並ぶ露店の数々。そして、桟橋からは大輪の花火が打ち上げられます。



⑧【大島港と官有船】



⑨【眉山亭】



③【大島会館】

旧大島会館(昭和34年3月完成)の老朽化のため、新たに冷暖房等の近代的な設備を導入し平成18年3月に完成した。この会館は、島外からの訪問・見学の方々との交流を深め、ハンセン病に対する啓発・理解を深める活動の場としての機能や、入所者のカラオケやコンサート、喫茶室等の福利厚生施設の設として大いに有効活用されている。



⑩【小林和三四博士像】

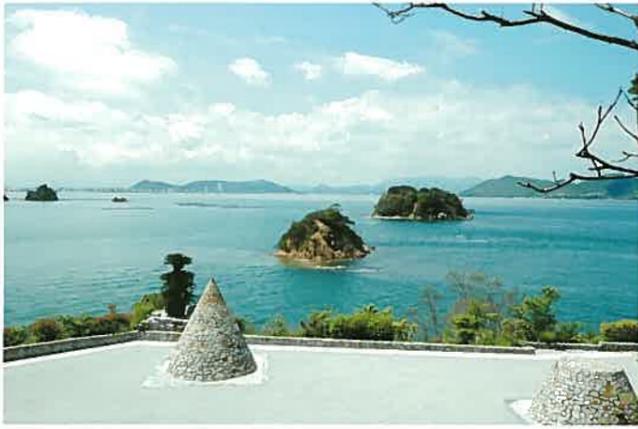


④【納骨堂】

全国のハンセン病療養所には、すべて納骨堂がある。ハンセン病療養所も病院であるが、一般の病院には納骨堂というものはなく、ハンセン病療養所特有のものである。大島青松園では明治42年の開園以来、平成27年度までに2,135名を超える入所者が亡くなられその多くがこの場所に葬られている。



【盲導鈴と盲導柵】



⑤【風の舞】

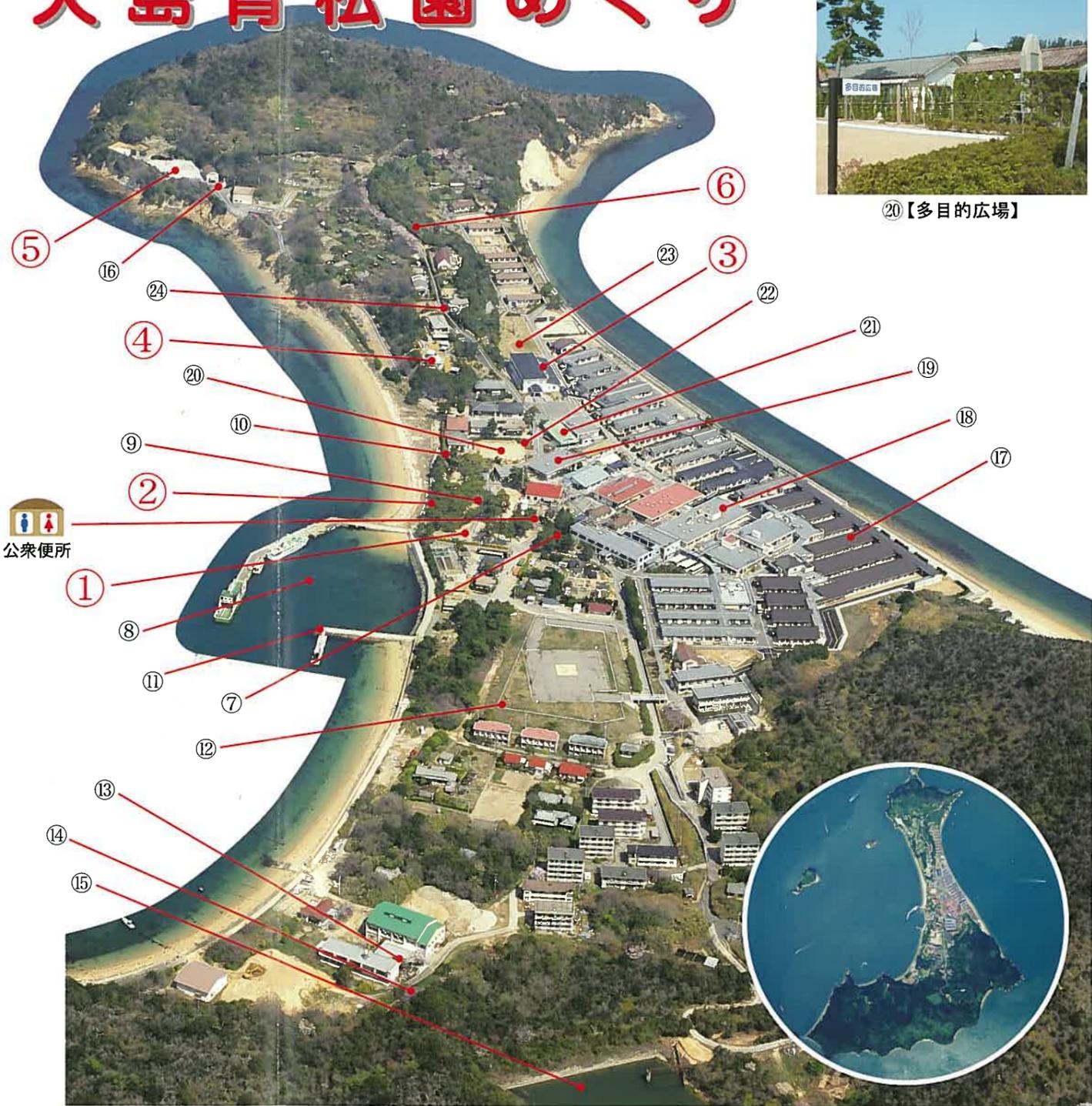
亡くられた人を火葬にし納骨した残りの骨を納めている。
平成4年、約1,000人のボランティアの協力で造られたモニュメント。天上・天下をイメージし、海に向かって据える。「せめて死後の魂は風に乗って島を離れ、自由に解放されますように」という願いが込められている。



⑥【石仏・ミニ八十八カ所】

大正時代の終わり頃、本山寺の住職とその遺志を継いだ實相寺住職が東奔西走し篤志家と語り、四国八十八カ所霊場の模型を作り寄贈されたもので、大島にいながら四国八十八カ寺巡りができるようになっている。

大島青松園めぐり



公共便所



②⑩【多目的広場】



②⑪【園内売店】



②②【貞明皇后歌碑】



②③【桜公園と小豆島遠望】



②④【宗教地区】

【大島青松園の航空写真】



①①【救急艇「せとのあかり」と棧橋】



①④【皇子神社】



①⑤【旧水源地と瀬戸内海】



①②【防災ヘリ用ヘリポート】



①⑥【火葬場と観音像】



①③【庵治第二小学校】



【県知事訪問】



①⑦【2センター外観】



①⑧【病棟 外観】



①⑨【福祉室 外観】



【旧一般寮から納骨堂遠望】

医療



大島の野鳥



人工透析装置



リハビリ



マルチスライスCT診断装置



超音波診断装置



治療棟ロビー



病棟 病室

療養



大島の蝶



【夏祭り】



【クリスマス会】



陶芸クラブ(入所者)

訓練



大島の花



ヘリコプターへの患者搬入の訓練



防火訓練

啓発



大島の野鳥



ハンセン病を正しく理解するフォーラム



大島から見る瀬戸内の夕日



大島の美しい砂浜



桜並木と教会



大島から望遠で見るサンポート高松
(白い航跡をのこして「せいしょう」が進んでいます)



大島青松園の位置

乗船案内

(当園へは官有船が就航しています)

職員等の通勤専用特定旅客航路

(見学等で大島へお越しの方は高松港発の官有船をご利用下さい)

高松港より
第1浮桟橋から出航します。
詳細は高松事務所へお問い合わせください。

大島青松園高松事務所
所在地 〒760-0019 香川県高松市サンポート8番1号
TEL-FAX (087) 851-2826

大島青松園庵治事務所
所在地 〒761-0130 香川県高松市庵治町6392-92
TEL-FAX (087) 871-3136



官有船「せいしょう」「まつかぜ」